



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄

例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1260回例会

～世界理解月間～

2006年2月9日(木) 晴 第28回

- 司会：(堀 慎治会場委員)
- 体操：ストレッチング(吉木洋二会場委員)
- 唱和：「四つのテスト」(田中隆義職業奉仕委員長)
- 斉唱：「我等の生業」
- ビクター：名古屋RC 盛田 宏君
(倉澤 寛親睦活動委員)

▶ 会長挨拶 守谷巖樹会長

本日は第2回目のカレービュッフェです。第1回の経験を生かし、会員の皆様によくゆっくり味わって頂くよう、慎重に企画されておられるそうです。

カレーのルーツはインドです。その昔、インドが英国の植民地だった頃、インドの食文化であるカレーを英国が持ち帰り、ヨーロッパ風のシチューのようにアレンジしたそうです。このヨーロッパ風カレーが、英国から文明開化の明治初期に日本に持ち込まれたそうです。そして、日本人によって、日本人の味覚に合うよういろいろ工夫改善され、現在の奥深いカレーになったのです。日本人にもっとも愛されている料理、カレーをお楽しみ下さい。



▶ 出席報告 落合 諭出席委員長

会員75名 出席55名 (出席計算人数55名)

出席率76.36%

2月 2日は補填により 98.18%
1月26日は補填により 98.18%
1月19日は補填により 98.18%

▶ 幹事報告 鈴木幹雄幹事

・2006～07年度のロータリー手帳の申込書をメールボックスに入れてありますので、希望する方は2月16日までにお申し込み下さい。



▶ 委員会・同好会報告

▶ ロータリー情報委員会:大島浩嗣委員長

先週、皆様のお手元にロータリーの友が届いているかと思えます。2月は世界理解月間です。今月号のロータリーの友には海外のロータリー活動を知ろうということで、海外のロータリークラブの活動が紹介されております。それから、国際大会に関連する記事が掲載されておりますので、興味のある方はお目通し願えれば幸いです。

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	2/22(水)※	3/1(水)		
名古屋北	2/24(金)			3/17(金)※
名古屋みなと				3/17(金)
名古屋東南		3/1(水)		
名古屋中		2/27(月)		
名古屋和合				3/15(水)
名古屋名東			3/7(火)	
名古屋名北		3/1(水)		
名古屋名南		2/28(火)◇		
名古屋昭和	2/20(月)			
名古屋西南			3/9(木)	
尾張中央	2/22(水)※			
豊山城北		2/28(火)		
名古屋葵	2/23(木)※			

(注) ※は休会・その他理由につきビクター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

▶ ニコボックス 渡辺喜代彦ニコボックス委員長

- ・今月20日は私の誕生日です。 松井 善則君
- ・2月28日は私の誕生日です。 増田 盛英君
- ・今月は私の誕生月です。 近藤 洋輔君
- ・2月22日は結婚記念日です。 泉 憲一君
- ・2月14日バレンタインデー、その日が結婚記念日です。 長坂 邦雄君
- ・我が社の所有する土地が公道に接続されました。協力して頂いた方に感謝しています。 岩田 吉廣君
- ・太って困っています! 内田 久利君
- ・加納さん昨日はお世話をかけ、有難うございました。 岩本 成郎君
- ・米国の研究で、犬が人間の息で肺ガンと乳ガンを90%異常発見出来ると発表報告がありました。皆様も犬を飼育し、松波動物病院の患者になって下さい。 松波 恒彦君
- ・よろしく 山田 鎮浩君
- ・渡辺委員長と目が合いました。 大川 嘉成君
- ・もう暫く寒さが続きそうです。皆様お体を大切に。 高須 洋志君
- ・毎日寒い日が続きます。 宇佐美貞夫君
- ・インフルエンザがはやっています。気をつけて下さい。 大和 哲郎君
- ・平穩無事を感謝して。 平野哲始郎君
- ・去る2月3日は妻の誕生日でした。 高村 博三君

▶ 第2回カレーbuffetの様子

昨年から始まったカレーbuffetの2回目の模様です。



たが、鈴木さん曰く「1月から発足するけれども、最初に入るとい
いるな役を押しつけられるから、しばらく経ってから入会を」といわ
れ3月に入会しました。ですから第1回のロータリー入会生で、同じ
時期に入会したのが江口さん、武田さん、布目さんの4名というこ
とで今日に至っております。その当時は会員数が34名で、私が会長
を務めた時は74名、100名に到達したのが1994年、最高で104名
になりました。現在はそれから減って75名で、私が会長であった時
と同じぐらいの会員数になったということになります。皆様ひとつ馬
力をかけて会員増強をお願いしたいと思います。RCでは出席免除
の特典があるわけですが、ロータリー在籍20年間に65歳に到達
するか、15年在籍のうちに75歳に到達するか、どちらかの条件が
必要となります。私の場合は20年間で65歳の条件で出席免除を
申請しまして、出席免除の第1号にして頂いております。ですがせめ
て半分は出席をしたいと思っております。その様な経緯があり、現
在に至っております。

私の81歳に至るまでの経験ですが、昭和6年の小学校入学当時
に満州事変が始まり、これが日中戦争のそもそものきっかけであり
ます。それから昭和7年の7歳の時に五・一五事件が起きました。
18名の青年将校が決起し、当時の政府高官を襲撃した事件であ
ります。その時に犬養首相が凶弾に倒れました。昭和11年には二・
二六事件が発生しております。これも20名の青年将校が1500名
の兵士を引率して、政府の高官の官舎や自宅を襲撃しました。た
まにこの時、襲撃された岡田総理大臣は押入に身を隠し助かりま
した。代わりに秘書官の陸軍大佐が殺害されております。こうい
った生々しい事件が昭和11年には起こっております。それから昭和
12年、中学入学の12歳の時に支那事変が勃発しております。支
那事変とは北京郊外の盧溝橋という所で日中が交戦に入り、これ
から本格的な日中戦争になっていく訳であります。それから昭和16
年になって大東亜戦争が勃発しました。その後現在に至っており
ますが、私の青少年時代は戦争に始まり戦争に終わった時代であ
りました。現代の若者が平和を楽しみ、物も豊富な中で過ごしてい
るのと比べますと、軍事一色であったという記憶があります。昭和
16年の真珠湾攻撃、マレー沖対戦で日本の航空機が戦果を挙げ
ております。それに刺激され飛行機にあこがれ、昭和18年に旧制の
名古屋高等工業学校の航空工学科に入学いたしました。願書を出
願してから驚いたのですが当時、高等専門学校で航空工学科があ
るのは名古屋と横浜だけで、全国から志願者が殺到し、9倍近い競
争率だったと聞いております。幸いにして合格いたしました。航空機
の専攻となった訳であります。ですが昭和18年に徴兵令が繰上げ
となり、文科系の学生はすべて戦線へ送られました。理科系の学生
も学徒動員令によって軍需産業に従事させられました。私が最初
に従事したのは愛知航空の稲永工場で、昭和19年の5月から
8月まで動員されました。その後、8月からは正式な動員となり中島
飛行機の半田製作所という所へ配属となりました。当時の中島飛
行機は全国に10カ所ほどの工場を持ち、航空機の生産をしており
ました。ここで私は「彩雲」という海軍の偵察機の改造設計をする
ことになりましたが、実際の戦闘に使われることなく終戦を迎え
ました。そして戦後60年が経ち、日本は世界の中でも指折りの経済大
国となりました。

いずれにしても81歳まで生きながらえしたので、これから
過ぎ去った人生の取り戻しをしたいと思っておりますので、どうぞ皆様今
後ともお付き合いの程宜しく願いたします。

▶ 今週卓話

2月16日(木)

講 師：R財団国際親善文化研修奨学生 小川博子様
テ マ：「R財団国際親善文化研修奨学生帰国報告」

▶ 次週予定

2月23日(木)

休 会：(2月28日(火)の振替による)

▶ 次々週行事

2月28日(火)

4RC合同例会：18:00より

於：名古屋 Marriott アソシア ホテル 16階
「タワーズボールルーム」

▶ 卓話

森 真佐雄君

▶ 「半寿(81歳)の経験と回顧」

皆様こんにちは。今日は半寿の経験と回顧
ということでお話しをさせていただきます。表題
にあります半寿とは何かと申しますと、以
前ロータリーの友で、優秀な卓話が載せら
れる「話の泉」に、福井RCの会員で、病院の
院長さんの卓話が掲載されておりました。
その卓話を少しご紹介させて頂きたいと思
います。「還暦」は60歳で、ちょうど人並みの人生の出発点である
ということです。60歳の方は頑張っスタートして下さい。70歳は
「古希」で、この年は元氣溢れる澆刺とした年齢であるということだ
そうです。77歳は「喜寿」で、喜の略字を崩すと七十七になることか
ら「喜寿」といわれるのだそうです。少し人生に慣れてきた頃かとい
う年です。それから81歳は「半寿」で、これで人生ちょうど半分だ
そうです。88歳の「米寿」は米の字を崩すと八十八となることから「米
寿」といわれております。まだまだお米が食べたりない、もっとお米
を食べて年をとりましようということだそうです。それから90歳が
「卒寿」ですが、卒寿の卒を卒と略した時、九十となります。人生の
卒業はまだ無いはずだということだそうです。99歳は「白寿」で、百
の上の一を取ると白という字になることから、百より一少ない99歳
を「白寿」といいます。100歳は「百寿(ももじゅ)」です。1つの節目で
あり、まだまだ未熟なのだそうです。それから108歳が「茶寿」とい
い、もっともお茶を飲んで下さいと言うことだそうです。120歳
が「昔寿(せきじゅ)」で、終わりにだんだん近づいてきて心づもりが
出来たけれども、まだまだこれからだという励ましの言葉だと思
います。最後は先ほども申しました「天寿」で162歳のことをい
います。「半寿」である81歳の倍の年となります。私も「天寿」の半分の年
「半寿」になりました。



歳の話からお話しを致しましたが、次に私がロータリーに入会
する経緯をお話ししたいと思います。昭和55年の1月に当クラブは
発足しております。その2ヶ月前に初代会長の鈴木俊雄さんと経済
産業視察団として中国へ赴きました。その時に鈴木さんから新しい
ロータリーが出来ると言うことを伺い、鈴木さんが初代会長になる
ということで入会しないかと誘われました。鈴木さんのお誘いとあ
ればお断りすることも出来ませんので、入会しますとお返しまし